

## 用語解説

### あ行

#### ● 空き家バンク

行政側で、地元の方々から広報誌やホームページなどで空き家情報を広く募集し、移住・交流希望者向けの物件情報を地方公共団体のホームページ上などで提供する仕組み。

#### ● アグリビジネス実習

アグリビジネスとはアグリカルチャーとビジネスを組み合わせた造語で、農業関連の経済活動全体のことをいい、アグリビジネスに求められる一連の知識・技術を習得した人材である「アグリビジネスマスター」を育成するための実習カリキュラム。

#### ● インフラ

インフラストラクチャーの略で、生活や産業活動の基盤となっている施設。公共的な機能を担う施設で、道路、治水施設、港湾、鉄道、公園、上下水道、通信施設、エネルギー供給施設などが含まれる。

#### ● オルタナティブ教育

独自の教育理念を掲げ、子どもの個性を活かした教育、多様性を重視した教育。

### か行

#### ● カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることであり、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

#### ● 学校・地域パートナーシップ事業

「地域と共にある学校づくり」に関わる県内小学校、中学校の教職員、保護者、地域コーディネーター・ボランティア、市町村教育委員会事務局関係職員などが集まり、地域の絆をつなぐ気運を高めるとともに、地域の教育力の向上を図るために、平成25年度にはじまった取組。

#### ● 関係人口

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様な関わりを持つ人々。「関係人口」の中でも、特にオンラインでの交流など現地を訪問することなく関わっている人々のことを「オンライン関係人口」という。

#### ● 基幹的農業従事者

農業に主として従事した世帯員（農業就業人口）のうち、調査期日前1年間のふだんの主な状態が「仕事として主に自営農業として従事していた者」のこと。

#### ● キャッシュレス決済

現金以外で支払う決済手段。クレジットカードやデビットカード、交通系や流通系の電子マネー、バーコードやQRコードを介したコード決済など、さまざまな種類がある。

#### ● キャリア教育

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育（文部科学省による定義）。

#### ● 教育DX

学校が、デジタル技術を活用して、カリキュラムや学習のあり方を革新するとともに、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立すること。

- 共助

「自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る」ということ。災害時に頼りになるのは、隣近所の人たちになる。地域の特性を把握したうえで、住民同士で災害に備えることを指す。

- クラウドファンディング

「群衆（クラウド）」と「資金調達（ファンディング）」を組み合わせた造語で、「インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達する」こと。金融機関等からの資金調達にはない「手軽さ」などが魅力的な新たな資金調達の仕組み。

- グローバル人材

日本人としてのアイデンティティ（自分が自分であること、さらにはそうした自分が他者から認められている感覚）や日本の文化に対する深い理解を前提として、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性と積極性、協調性、柔軟性、課題発見・解決能力、メディア・リテラシー、異文化理解の精神等を身につけたさまざまな分野で活躍できる人材。

- 公会計

地方公共団体で行われている会計処理のこと。地方自治体に準じ財務諸表を整備し、財政の効率化・適正化を図るもの。

- 合計特殊出生率

人口に対して生まれた子供の数を表す指標の一つ。15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に子供を生むとしたときの子供の数に相当し、人口動態の出生の傾向をみるときの主要な指標。

- 高収益作物

主食用米と比べて面積当たりの収益性が高い作物をいい、野菜、花き・花木及び果樹に該当する作物。その他、収益性の高さについて地方農政局等の承認を得た作物も取り扱う場合がある。

- 公助

行政の役割として、平素から災害発生に備え、防災に対する啓発等を進めるとともに、災害時において迅速で的確な対応ができるように努めること。

- コミュニケーションツール

相手と円滑なコミュニケーションを取るために利用できるツールを指す。この計画内では、広報紙やホームページ、インターネットや各種 SNS などの媒体のこと。

- コワーキングスペース

個室ではない作業スペースや会議室、打ち合わせスペースなどを個人や複数の会社で共用し、それぞれ独立して作業を行う場所のこと。

## さ行

- 再生可能エネルギー

一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇せず繰り返し利用できるエネルギーのこと。化石燃料とは異なり、発電時に地球温暖化の原因となる CO2 を排出しないため、環境にやさしいエネルギー源となる。

- サステナブルなまち

英語では「sustainable」と表現し、sustain（持続する）と able（～できる）からなり、「持続可能な」「維持できる」という意味を持つ。本計画では子どもから高齢者まで全ての住民が活躍し、住民が輝き続けているまちを指す。

- サテライトオフィス

企業または団体の本拠地から、離れた場所に設置された小規模のオフィス。

- 自助

「自らの身は自分で守る」ということ。普段から災害に関する知識を身につけ、災害を正しく理解し、何を備えておけばよいかを考え、災害に対する準備をすること。

- シティプロモーション

地方自治体によって行われる「広報活動」や「営業活動」のことで、移住者や定住者の増加などに向けて、地域の認知度の向上やブランド力向上を目的として行われる活動。

- シビックプライド

「都市に対する市民の誇り」や「自分自身が関わって地域を良くしていこうとする、当事者意識に基づく自負心」のこと。

- 重要業績評価指標（KPI）

「Key Performance Indicator」の略語。目標達成のためのプロセスが、適切に実行されているかどうかを評価する指標。

- 小地域ネットワーク

自治(町内)会等の小地域を基盤として、住民の参加と協力により、同じ地域の中で援護が必要な方々の生活を見守り、支え合っていく隣人同士で形成されるネットワーク。

- 新公会計システム

統一的な基準による財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書など）の作成及び固定資産台帳の整備を行うためのシステム。

- スクールカウンセラー

臨床心理に関する専門知識を活かし、学校現場に関わる人の心のケアを行うため、児童や生徒及び保護者、教職員に相談・支援を行う専門職員。

- スクールソーシャルワーカー

児童・生徒が生活の中で抱えているいろいろな問題の解決を図る専門職員。学校、家庭、地域で暮らしやすい生活の支援や福祉制度の活用などを通し、児童・生徒の支援を行う。

- スマート農業

ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用し、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業。

- セクハラ

「セクシュアルハラスメント」の略で、相手の意に反する性的言動によって、働く上で不利益を被ったり、『性的な言動』によって就業環境が妨げられること。

- ゼロカーボンシティ

首長の会見や各自治体のホームページなどで「2050年までにゼロカーボン（二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすること）を目指す」と表明した自治体。

## た行

### ●ダイバーシティ

「雇用する人材の《多様性》を確保する」という概念や指針を指す意味で用いられる語。単に「多様性」と訳されることもある。

### ●団塊の世代

1947（昭和 22）年から 1949（昭和 24）年 にかけての第一次ベビーブームで生まれた世代のこと。

### ●地域包括ケアシステム

地域の実情に合った医療・介護・予防・住まい・生活支援の一体化を目指し、要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で助け合う体制。

### ●チャットボット

「チャット」と「ボット」を組み合わせた言葉で、人工知能を活用した「自動会話プログラム」のこと。「チャット」は、インターネットを利用したリアルタイムコミュニケーションのことで、主にテキストを双方向でやり取りする仕組み。「ボット」は、「ロボット」の略で、人間に代わって一定のタスクや処理を自動化するためのプログラムのこと。

### ●町道重点 3 路線

鳴川路線・川原路線・平群駅前線の 3 路線。

### ●デジタルインフラ

インターネットをはじめとする IT 全般の技術基盤。パソコンやスマートフォンなどインターネットへの接続を可能とする通信網、共通の利用環境を提供するオペレーティングシステムやアプリケーションソフト、電子商取引に必要な決済システムなどを指す。

### ●デマンド型乗合タクシー

利用者の「デマンド（要求、需要、ニーズ）」に合わせ運行する形態の交通を意味し、利用者からの予約に応じて運行する乗合タクシーのこと。

### ●テレワーク

「Tele（離れた）」と「Work（働く）」を組み合わせた造語で、ICTを利用して時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。

### ●道路台帳

道路個別の路線名、路線の起終点、車道等の幅員、道路区域線等の情報が記載されている台帳。近年は、各種地図データと台帳に記載されているデータが一元管理されたシステムの整備が進み、照会業務等の効率化が進んでいる。

### ●特定農業振興ゾーン

奈良県独自の取組であり、県内の農地を有効に活用し、農業の生産性の向上を図るために県知事により設定されるエリア（令和 4 年 12 月現在、平群町 1 地区を含む 3 市 4 町 10 地区が設定されている）。

## は行

### ●配食サービス

食事の確保が困難な一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などを対象に、栄養バランスの良い食事を届け、安否の確認等の見守りサービスも合わせて実施する生活支援型サービス。

- バスロケーションシステム

バス車両に取り付けたGPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコンなどにバスの運行情報をリアルタイムに提供するシステム。

- パブリックコメント

行政機関が政策を形成していく際、事前に広く一般から意見を募り、その意見を考慮すること。原案等の公表や意見等への応答により政策形成過程の透明性の向上と説明責任を果たすことができる意見公募手続の制度。

- バリアフリー

「バリア（障壁）」「フリー（のぞく）」を組み合わせた建築用語であり、建物内の段差など、物理的な障壁となるものを取り除き、生活しやすくすること。

- 伴走型支援

中小企業の経営力立て直しを図ることを目的として、中小企業の経営者と第三者（地域の商工団体や士業、金融機関など）が継続的に対話を重ね、課題設定や課題解決の支援を行うことで中小企業の経営改革と自走化を促していくもの。

- 半農半X

自分や家族が食べる分の食料を得るための農業をしながら、他の時間は自分の好きなことややりたいこと、やりがいのある仕事をする生き方。

- ファミリー・サポート・センター事業

「育児のお手伝いをしたい方」と「育児のお手伝いをしてほしい方」が地域の中で助け合いながら子育てをする活動の連絡、調整を行う事業。

- ファミリークラス

従来の母親教室と異なり、妊婦だけでなく父親や祖父母等の家族も一緒になって、妊娠時から育児について考える教室。

- フードドライブ

家庭で余っている食べ物を地域の福祉団体や施設などに寄付する活動。

- フレイル

日本語で「虚弱」や「老衰」を意味する「Frailty（フレイルティ）」を語源とし、加齢により心身が老い衰えた状態のことを指す一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像のこと。

- 平群ブランド

平群町の自然・歴史・農産物・くらしなどの地域資源化を推進する単一ワードとして象徴的にまとめられるもので、平群町の魅力を町内外に繋ぎ約束する言葉。

- 平群ブランド認定

自然・歴史・農産物・くらしなどの平群が持つすべての魅力において一定の基準を満たした“良いもの”“良いこと”のこと。

- ヘルスボランティア

地域で健康づくりを広めていくために、ボランティアとして活動する人たちのことであり、平群町においては「健康づくりボランティア」として、様々な健康づくりの応援をしているボランティア団体がある。

## ま行

- マイナンバーカード

行政手続等における特定の個人を識別するための番号制度で、表面には、氏名、住所、生年月日、性別と本人の顔写真等、裏面にはマイナンバー（12桁の数字）が記載されたプラスチック製のICカードであり、デジタル社会に必要なツールである。

- 道の駅大和路へぐり「くまがしステーション」

国道168号バイパス沿いにある道の駅。

ドライブの休憩機能のほか、「とれたて市」ではその日に収穫された新鮮な農産物や花卉を販売するなど、平群町内の農産物、特産品を販売している。

自然派レストランも設置しており、平群町内を中心に県内の観光をはじめとする各種情報発信の拠点。

## や行

- 山のぼっけ花いっぱいサポータークラブ制度

地域の方と町が協働で進める新しい環境美化への取組のことで、主要道路、公園、緑地など、地域の方が利用する公共施設の環境美化に取り組むボランティア活動を町が支援する制度。

- ヤングケアラー

本来大人が担うと想定される家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。

- 有収率

浄水場から供給した配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合。水道事業の効率性を計る一つの指標。

## ら行

- リモートワーク

「Remote（遠隔）」と「Work（働く）」を組み合わせた造語で、従業員が出社することなく、自宅などで働く勤務形態。

- レクリエーション

仕事・勉強などの肉体的・精神的疲労をいやし、元気を回復するために休養をとったり娯楽を行ったりすること。また、その休養や娯楽。

## わ行

- ワークেশョン

「Work（働く）」と「Vacation（休暇）」を組み合わせた造語で、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしながら、自分の時間も過ごすこと。

## アルファベット

- AI（人工知能）

Artificial（人工的な）Intelligence（知能／知性）の略称。人間の知能や行動をコンピュータプログラムで再現した技術や製品の総称。機械学習や画像・音声認識、推論、予測により、状況に応じて最適な行動を選択する。

- ALT

Assistant Language Teacherの略で、助手の立場から、学級担任や英語担当教員とひとしょに授業をする「外国語指導助手」「英語指導補助」のこと。

- B D Sゲート

BDS（ブックディテクションシステム）とは、図書館システムの一つであり、未手続きの蔵書を持ち出すとブザーやランプによる手続きの未処理を知らせるシステムであり、そのシステムを入館ゲートとして設置したもの。

- DV

「domestic violence（ドメスティック・バイオレンス）」の略語。明確な定義はなく、日本では「配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力」という意味で使用されることが多い。

- DX（デジタル・トランスフォーメーション）

「デジタル（Digital）」と「変革を意味するトランスフォーメーション（Transformation）」により作られた造語。デジタル技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

- DX 推進計画

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」等に掲げられた各種の施策について、自治体が重点的に取り組むべき事項や内容を具体化に記載したもの。総務省や関係省庁による支援策等が取りまとめられている。

- GIGA スクール構想

GIGA とは「Global and Innovation Gateway for All」の略語で「すべての人に多様で革新的な入口を」という意味。GIGA スクール構想とは、児童生徒1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育を持続的に実現させる構想。

- ICT

IT「Information Technology（コンピュータとインターネットを利用した技術）」に「Communication（通信、伝達）」を含めたもので、インターネットなどを経由して人と人をつなぐ役割を果たす双方向性のシステムとして医療、教育など諸分野で活用されている技術。

- IC タグ

IC とは「Integrated Circuit（インテグレイティド・サーキット）」の略。接触させずに電波によってデータの記憶や読み取りが可能な、情報を記録する IC チップと、無線通信用のアンテナを組み合わせた小さなタグ。本計画では、データが入っている部品とそれを読み書きする機械が電波を通じてやり取りするシステムを用いて、図書の無断持ち帰りや在庫管理等で活用。

- LGBTQ+

「Lesbian（レズビアン＝女性の同性愛者）」、「Gay（ゲイ＝男性の同性愛者）」、「Bisexual（バイセクシュアル＝両性愛者）」の3つの性的指向と、「Transgender（トランスジェンダー＝出生時に診断された性と自認する性の不一致）」という性自認の各単語の頭文字に、「Questioning（クエスチョニング＝自らの性のあり方を決めない人、定めない人）」および「Queer（クィア＝特定の枠に属さない性のあり方）」、「+（プラス＝性のあり方は多様であり、上記以外のすべての性のあり方を表す包括的な意味）」が加わった、性の多様性の取りこぼしが無いことを目指した呼称。

- RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）

事務系の定型作業を自動化・代行するツールのこと。これまで手作業で行っていたルーティンワーク（定型業務）等のパソコン上の作業を自動化でき、業務効率の向上と人為的ミスの予防になり、生産性の向上が見込める。

- SNS

「Social Networking Service」の略で、人と人とのつながりを促進・サポートするコミュニティ型 Web サイトのこと。「Facebook」「Twitter」「LINE」「Instagram」が日本国内で普及している主要 4 大サービスとされている。

- TNR 事業

所有者不明猫を捕獲 (Trap) し、不妊・去勢手術 (Neuter) を行い、耳に V 字カットを入れて元の場所に戻す (Return) ことで、所有者不明猫の繁殖を抑制し、所有者不明猫による地域への被害の軽減を目指す取組。

- WESTNARA

奈良県北西部に位置する 6 市町 (大和郡山市・平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・王寺町) のエリア。2021 (令和 3) 年 4 月、6 市町の連携により「WEST NARA 広域観光推進協議会」が発足し、観光プロモーションなどの取組が進められている。

## 数字

- 2025 問題

2025 年には約 800 万人の団塊の世代が後期高齢者 (75 歳) となり、国民の 4 人に 1 人が後期高齢者という超高齢化社会を迎えることにより立脚する諸問題のこと。社会構造や体制が大きな分岐点を迎え、雇用、医療、福祉など、さまざまな分野に影響を与えることが危惧されている。

- 30・10 運動 (さんまるいちまる運動)

乾杯の後の 30 分間とお開き前の 10 分間は自分の席について料理を楽しみ、宴会時における食べ残しを減らす運動。

- 3 次元データ

対象となる物体・構造物や地形を 3 次元で表現したデータのこと。点・線・面などの要素で構成される。

- 5R (ファイブアール)

リデュース (ごみを発生させない)・リユース (ものを繰り返し使う)・リサイクル (資源として再生利用する) の 3 R にリフューズ (断る)・リペア (修理して使う) を加えたごみを減らすための 5 つの行動。

- 8050 問題 (はちまるごーまる問題)

ひきこもりの子をもつ家庭が高齢化し、50 代の中高年のひきこもりの子を 80 代の後期高齢者にさしかかった後期高齢者の親が面倒見るケースが増えている事象のこと。

## その他

- 「重症警報」

奈良県重症警報のこと。令和 3 年 11 月に奈良県が 4 項目の財政指標を選び、2 項目以上でワースト 5 に入った 3 市 2 町に対し発令した。平群町も 5 市町の中に含まれている。

【4 つの指標】：①財政の硬直度を示す「経常収支比率」

②資金繰りの程度を表す「実質公債費比率」

③将来財政を圧迫する可能性を示す「将来負担比率」

④緊急の支出が生じた場合に備える積立金を表す「基金残高比率」